



▲白河市で激励を受け記念撮影

只見高校生一人一人の頑張りで、今年も素晴らしいイベントになりました。

初日の2日は、新潟県庁を出発して、三条市を通り只見町役場に到着。3日は、只見町役場をスタートして、南会津町、白河市を通り夕方はいわき市の勿来の関に無事に到着した。

只見高校生が新潟市からいわき市までの国道289号を自転車で行きました。これは、町の有志で実行委員会をつくり毎年夏休み期間に行っているイベントで、今年で4回目となります。国道289号全線早期開通と、八十里越の周辺環境の保全と活用をPRするため、只見高校1、2年生約30名が猛暑の中、約10キロずつ交代しながら6台の自転車でゴールを目指しました。



▲猛暑にもめげず笑顔で走る高校生

踏破総距離325キロ  
第4回 R289フルコース踏破



▲学校で「おりがみ」が人気になったそうです

今回の参加者の齋藤咲希さんは、「イギリスの学校での授業はとても楽しく、とても良い経験になった。異文化交流などして2週間で大きく成長出来た。」石坂香奈子さんは「2週間の中で一番の思い出は、現地の友達と話した時間。最終日には自分の英語力が上がっていることが実感出来た。この留学で、自分の進路も具体的に考えられるようになってきた。」という感想もち、2人とも充実した2週間を過ごせたようでした。



▲短期留学した齋藤咲希さん(左)と石坂香奈子さん

8月3日から2週間、只見高校の石坂香奈子さんと齋藤咲希さんがイギリスのケンブリッジへ短期留学をしました。これは昨年からは只見高校が実施している短期海外留学派遣事業で、ホームステイをしながら海外の学校に通い、異文化交流や実践的なコミュニケーション能力の向上を目指すものです。

只見高校生2名が  
イギリスに2週間の短期留学



▲JR東日本福島支店での講座の様子

ふるさと只見・人材育成講座  
**高校生が只見を考える**

高校生を対象にした「ふるさと只見・人材育成講座」を8月に教育委員会が行いました。講座は、JR東日本福島支店で只見線代行バスの問題点や、乗車率を上げる改善策などを担当者に質問したり、ユネスコエコパークについて町の担当者から説明を受けるなどの内容で、受講者は自分達の住んでいる只見について学び理解を深めました。

只見高校  
**献血で厚生労働大臣表彰**

只見高校は、第50回献血運動推進全国大会で厚生労働大臣表彰団体に選ばれ、7月24日に福島赤十字献血センターで表彰状の贈呈式が行われました。

この表彰は、献血への多大な協力や献血普及のための積極的な取り組みなどで、他の模範となる活動がされた団体などに対して贈られるもので、只見高校の長年にわたる献血協力が認められ受賞したものです。

只見町消防団  
**福島県消防操法大会で好成績**

8月24日、福島市にある福島県消防学校で第39回福島県消防操法大会が開催されました。この大会に南会津地方大会で優勝した只見町消防団がポンプ車操法の部で出場し、この大会のために練習して成果を十分に発揮され、6位の好成績を収めました。

この県大会までの長い間、訓練に取り組まれてきた選手の皆さん、本当にお疲れさまでした。

荒井原納税貯蓄組合  
**振興局長感謝状を授与**

高い納付率を維持し他の組合の模範にもなっている荒井原納税貯蓄組合（目黒周子組合長）へ8月6日に南会津地方振興局長から優良納税貯蓄組合感謝状が贈呈されました。

納税貯蓄組合は、税金などを計画的に納めることを目的に組織した団体ですが、近年は組合員の高齢化などで解散が増えており、只見町納税貯蓄組合連合会では、組合員の新規加入の呼びかけや、小規模組合の合併の奨励・組合の新規設立を支援しています。



▲横山校長先生(左)と表彰状をもつ渡邊教頭先生



▲訓練の成果を披露



▲町も県民税完納町村知事感謝状を授与しました

柏市と交流20周年を記念して

## 野球交流大会を開催

柏市と只見町が「ふるさと交流都市」として、今年で20周年を迎えることを記念して8月23日に柏市で交流野球大会を開催しました。

始球式ではピッチャーを目黒町長、バッターを秋山市長が務め、その後、試合を通して交流を深めました。試合後には関係者や参加者から、今後も野球を通して交流をしていきたいという声が上がりました。



▲試合終了後に全員で記念撮影

只見線に乗って

## 小学生が災害を学ぶ

8月、町内の小学生に豪雨災害についての理解を深めて貰い、自分の生まれ育った町と地域を大切に思う心を養ってもらう事を目的として、只見線を利用した災害学習列車を只見・朝日振興センターが行いました。この事業に参加した小学生は、金山町まで只見線の代行バスに乗り、被災箇所の見学や、金山町役場での状況などを聞き、豪雨災害についての理解を深めました。



▲被災と復興を自分達目で確認

地域の課題解決を探る

## 町づくり元気塾

8月27日、明和振興センターで東北電力が地域づくり支援事業として実施している「まちづくり元気塾」が行われました。

日本全国の地域を視察し、アドバースなども行なっている講師3名が、明和地区全集落の現地調査を行い、各地域の課題を把握した上で他の地域での具体的な取組みや、講師の方から考える地域のあり方などが話されました。この事業は3回のシリーズで本年度はあと2回行われます。



▲講師の話真剣に聞く参加者

鳥獣被害対策を強化

## 鳥獣被害対策実施隊

只見町では、鳥獣による農作物被害などを防ぐため、捕獲隊員を従来任命していましたが、さらに鳥獣被害対策実施隊として25名を任命し8月4日に各地区の分隊長に町長室で辞令を交付しました。このことにより、鳥獣被害対策実施隊は町の非常勤職員となり、有害鳥獣の捕獲活動の他に町からの要請により被害地域でのパトロールなどをして、鳥獣による被害の軽減に向け活動していくこととなります。



▲辞令を受けた各地区の分隊長

## 今年も大学生が 只見で農業体験



▲田んぼでの作業に取り組み学生

昨年から、東京の大学生などが只見町を訪れ、農家でのお手伝いをする代わりにお米を貰う「只見奨学米プロジェクト」が8月29～31日にかけて行われました。

学生達が只見町を訪れるのは春の田植えの時期に続いて今年2回目。田んぼや畑での農作業を手伝ったり、ゲートボールに参加したりと町民との交流も深めました。学生達は秋の稲刈りの時期にまた只見町を訪れる予定となっています。

## 只見の魅力 若者たちがCMで発信



▲どの作品も只見の魅力が伝わる素晴らしいCMでした

8月31日、青少年旅行村で只見町で制作されたCMの発表会が行われました。これは「非営利団体 my Japan」が只見町の魅力を発信するCMコンテストを開催し、これに参加した若者7チームの作品が上映されました。

CMは宮城県、長野県でも同じように制作され、この日発表されたCMは修正を重ね9月に東京で行われる最終審査に臨み最優秀作品は1カ月間渋谷のスクランブル交差点で放映されます。

## 平成26年度産米 全袋放射性物質検査について

昨年、農家の皆様のご協力のもと実施しました米の全袋放射性物質検査を、今年も行います。

検査対象となるのは、昨年同様、出荷・販売米だけでなく、自家消費米、親戚等に配る縁故米、飼料用米、加工用米、酒米、くず米など、全ての米が対象となり、検査場所も、福井の朝日建設(株)倉庫検査場になります。

検査の進め方は、供米はJAまたは米屋商店へ一度納めて頂いた後、各業者より検査場へ運ばれます。供米以外の米は、電話にて検査予約を頂いたうえで自己搬入、または集荷依頼をして頂くこととなります。集荷依頼をされる場合は、永井運送(株)に順次集荷に回って頂きますが、米の全袋検査に関する部分に限り、運賃負担は生じません。ただし、混雑時には3日～4日ほどお待ち頂くことがあります。ご協力願います。

米の全袋放射性物質検査を進めるため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

〈問合せ〉 産業振興課農林班

☎ 82-5230

### 検査を受けるまでのながれ

